

平成 28 年度事業計画について

平成 28 年度は、国際花と緑の博覧会記念協会の設立 25 年の節目として「中長期ビジョン」を策定するとともに、協会の広報の充実により、国際花と緑の博覧会（以下「花の万博」という。）の理念「自然と人間との共生」の一層の継承、発展を図る。

具体には、第 24 回目の顕彰となるコスモス国際賞や助成・協働事業の実施に加え、次世代を担う青少年を対象とした事業の展開を図っていく。

なお、経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるが、選択と集中、創意工夫し、平成 27 年度の事業水準を下まわることのないよう執行に努める。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する 2016 年（第 24 回）コスモス国際賞事業を実施する。また、第 25 回目の節目となる 2017 年コスモス国際賞の準備を進めていく。

(2) B I E コスモス賞

博覧会国際事務局（BIE）が実施し、当協会が協力する「BIE コスモス賞」事業については、2017 年のカザフスタンのアスタナ万博での実施に向けて協議・調整を行う。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

2. 助成・協働事業

(1) 調査研究、行催事等助成事業

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究開発」並びに「活動・行催事」を支援するため、全国公募による助成事業を実施するとともに、平成 27 年度から実施した、25 万円以下の助成申請は、二次審査を免除する少額助成制度は平成 28 年度も継続する。

(2) 花とみどりの復興活動支援助成事業

東日本大震災の被災地の復興支援活動を行う団体に対する助成については、引き続き寄付金を充当し実施する。

(3) 地域協働事業

地方公共団体・企業・ボランティア・住民等と協働し、緑化や子供たちと花を育てることで地域のコミュニティづくり等の事業を実施してきたが、平成28年度は「歴史の道みどりの拠点づくり事業」の検証を行うほか、「子どもたちと育てる花とみどりによるコミュニティづくり事業」や「みどりの交流広場」など理念継承に資する事業を引き続き実施する。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

協会事業に関係する学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」及び、山野で生き物に触れあう「自然観察教室」については他の教育施設と協力して実施するとともに、毎日新聞社との共催による「小・中学校生態園づくり」を実施する。

また、幼稚園児に昆虫など生き物を通して自然に親しむ機会を提供しようと平成27年度に鶴見緑地で試行した「昆虫クエスト大作戦」を新規事業として実施する。

(2) 花育推進事業

花や緑を児童教育等の中に取り入れることを目的とした「花育活動」の推進のため、花育推進セミナー・交流会、花育ワークショップの開催等を支援する。

(3) 都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力する。

(4) 普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」を主催者の一員として実施する。

また、「コスモス国際賞受賞記念講演会」を、高校生や一般を対象に実施する。

(5) 国際交流事業

トルコのアンタルヤにて開催される国際園芸博覧会への日本政府出展に引き続き協力するほか、高校生を対象に海外の自然に触れさせる機会を作るために、新規事業として台湾にて海外青少年交流事業に着手する。

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行うとともに専門家の意見を踏まえ、フォーラムや中学生以上を対象とした小冊子を作成し、成果を広く発信していく。

(2) 里山等における共生に関する調査

平成 25 年度に東北地方、平成 26・27 年度に関西を対象として実施した「地域特有の花と緑に関わる伝統的文化に関する文献調査や事例調査」の結果を踏まえ、双方の比較を行い、結果を被災地のコミュニティの復興やまちづくりにも役立てられるよう、東北地方にて情報発信等を行う。

平成28年度収支予算書（損益計算方式）

平成28年4月1日 から 平成29年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	9,640,000	14,400,000	△4,760,000	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	250,360,000	264,600,000	△14,240,000	
受取寄付金				
受取寄付金振替額	3,000,000	4,000,000	△1,000,000	
経常収益計	263,000,000	283,000,000	△20,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	204,061,250	223,416,500	△19,355,250	
役員報酬	7,980,000	8,389,500	△409,500	
給与手当	38,648,400	42,123,000	△3,474,600	
法定福利費	7,593,600	8,141,000	△547,400	
退職給付費用	1,540,000	2,000,000	△460,000	
賃金	1,916,600	1,713,600	203,000	
職員厚生費	418,550	797,500	△378,950	
会議費	2,012,500	2,005,500	7,000	
旅費交通費	10,180,800	10,474,100	△293,300	
通信運搬費	2,703,400	3,355,100	△651,700	
広告費	1,050,000	756,000	294,000	
消耗什器備品費	70,000	70,000	0	
委託費	24,146,500	17,031,000	7,115,500	
消耗品費	1,637,300	2,312,800	△675,500	
修繕費	1,178,800	1,470,000	△291,200	
印刷製本費	4,242,000	2,349,900	1,892,100	
光熱水料費	2,562,000	2,450,000	112,000	
役務費	1,225,000	1,225,000	0	
賃借料	6,220,900	4,721,500	1,499,400	
使用料	2,890,300	3,465,000	△574,700	
諸謝金	6,893,600	6,421,800	471,800	
負担金・会費	20,635,000	40,935,000	△20,300,000	
助成金支出	17,000,000	17,000,000	0	
租税公課	39,900	105,000	△65,100	
手数料	732,200	714,000	18,200	
賞金支出	40,000,000	42,700,000	△2,700,000	
保険料	161,000	210,000	△49,000	
雑費	382,900	480,200	△97,300	
管理費	75,938,750	76,583,500	△644,750	
役員報酬	3,420,000	3,595,500	△175,500	
給与手当	34,123,600	37,062,000	△2,938,400	

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
法定福利費	6,434,400	6,689,000	△254,600	
退職給付費用	1,260,000	2,000,000	△740,000	
賃金	821,400	734,400	87,000	
職員厚生費	342,450	652,500	△310,050	
会議費	862,500	859,500	3,000	
旅費交通費	4,363,200	4,488,900	△125,700	
通信運搬費	1,158,600	1,437,900	△279,300	
広告費	450,000	324,000	126,000	
消耗什器備品費	30,000	30,000	0	
委託費	10,348,500	7,299,000	3,049,500	
消耗品費	701,700	991,200	△289,500	
修繕費	505,200	630,000	△124,800	
印刷製本費	1,818,000	1,007,100	810,900	
光熱水料費	1,098,000	1,050,000	48,000	
役務費	525,000	525,000	0	
賃借料	2,666,100	2,023,500	642,600	
使用料	1,238,700	1,485,000	△246,300	
諸謝金	2,954,400	2,752,200	202,200	
負担金・会費	253,000	300,000	△47,000	
租税公課	17,100	45,000	△27,900	
手数料	313,800	306,000	7,800	
保険料	69,000	90,000	△21,000	
雑費	164,100	205,800	△41,700	
経常費用計	280,000,000	300,000,000	△20,000,000	
当期経常増減額	△17,000,000	△17,000,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△17,000,000	△17,000,000	0	
一般正味財産期首残高	177,112,897	194,112,897	△17,000,000	
一般正味財産期末残高	160,112,897	177,112,897	△17,000,000	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	3,000,000	4,000,000	△1,000,000	
一般正味財産への振替額	△3,000,000	△4,000,000	1,000,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,048,944,100	10,048,944,100	0	
指定正味財産期末残高	10,048,944,100	10,048,944,100	0	
III 正味財産期末残高	10,209,056,997	10,226,056,997	△17,000,000	

(注) 借入金限度額 100,000千円

平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みについて

(自：平成 28 年 4 月 1 日 至：平成 29 年 3 月 31 日)

1. 資金調達の見込みについて

- ・当年度における借り入れの予定・・・なし

2. 設備投資の見込みについて

- ・当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定
・・・なし